

令和3年8月25日（水）

令和3年度 2学期始業式挨拶

生徒の皆さんの無事故や事件がなく、元気な顔を見ることができて大変うれしく思います。

異例の夏休みでした。本来ならば暑い夏にそれぞれの目標に向かって頑張る夏休みでしたが、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大、その中での東京オリンピック、先日の大雨と中々集中できない夏休みだったと思います。

2学期の始業式にあたり、まずはそれぞれの学年目標に見通し（Anticipation）を立て、行動（Action）することを心がけてください。

3年生は、「進路目標の実現」

2年生は「新しい時代への明確な“動機づけ”」

1年生は、「ありたい自分を見つけるための基礎作り」です。

ところで、夏休みに東京オリンピックが開催されました。コロナ禍における開催への可否は別にしてスポーツの素晴らしさを実感した人も多かったと思います。野球、ソフトボール、柔道、スケートボードなど金メダルを獲得した選手、金メダルを期待されながら結果を出せなかった選手と色々な物語がその選手にあったと思います。でも物語のプロセスには優劣をつけることができません。同じようにコロナ禍の中で世の中は「主体性（自走力）を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を評価する流れがあります。すなわち結果もちろん大切ですが、教育的な活動の努力の積み重ねやプロセスを多面的・総合的に評価を行うことです。

では活動の積み重ねはどのようにすればできるのか？まずは目標、見通しを立てることです。オリンピック同時に必ずと言っていいほど、アメリカ・メジャーリーグの大谷翔平選手が報道されます。去年は、故障で苦しみましたが、今年はピッチャーとバッターの二刀流での活躍は一段と磨きがかかっています。是非、ホームラン王を獲得してほしいと思います。その目標を達成するためには、高校生のときに8つの目標を立てました。①体力づくり②スピード時速160km③コントロール④変化球⑤球のキレ⑥メンタル⑦人間性⑧運、の8つです。特に野球以外の⑦⑧番目のために「挨拶」「ゴミ拾い」「靴を揃える」「手伝いをする」など日常生活でも実行していました。大きな目標を達成するために普通の高校生活に見通しを立て、地道な行動や努力の積み重ねてきたのです。2学期は、学習の秋、スポーツの秋、〇〇の秋と言われています。特に3年生は進路実現と全生徒での双松祭の成功が身近の目標です。感染症対策の中ですが、少し努力し、継続すれば達成できる見通し立て、行動を起こしてください。その見通し、行動を振り返ることで積み重ねができ、きっと双松祭の成功から充実の秋となると思います。有名な物理学者ニュートンは「今日為（な）し得（え）るだけのことに全力を尽くせ。しからば明日は一段の進歩がある。」と言っています。今日できるのこと、小さなことに行動を起こしてください。

最後に、新型コロナウイルスの感染拡大で、更に今までとは違う局面となりました。マスクの着用、手洗い・うがいの励行、黙食、3密回避など制約の多い不自由な学校生活です。このような中、9月2日・4日に双松祭が行われます。学校祭は「師弟同行」生徒・教師が一丸「One Team」となって行う学校の最大の行事です。このような時だからこそ、最上級生である3年生諸君、3年生の存在感を示す時です。君たちが困難な時だからこそその「ピンチをチャンスに変える」気持ちで下級生の良きお手本になってくれることを強く願っています。

責任ある行動を心掛け、双松祭が成功することと2学期が健康に留意し、実り多い学校生活を送れること祈念して、始業式の挨拶とします。